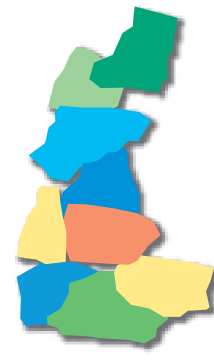


# 多治見市 オリベストリート

美濃焼で有名な多治見市は  
陶磁器問屋の雰囲気を活かしたまちづくり

ひかり結ぶまち



## かりや 景観れぽーと

テーマ  
住民主体の景観まちづくり

VOL. 22

発行日：平成26年3月1日  
発行：刈谷市まちづくり推進課  
TEL：(0566)62-1022



交番もまわりの景観に合わせてデザインされています。



Point!

屋外広告物もまわりのまちなみに色を合わせ、まちの雰囲気を保っています。



地域のまちづくりに尽力されている方のお話をお聞きました。



日本風の古い家屋とアーチ型の開口部が魅力的な洋風建築物が不思議とマッチして並んでいます。

オリベストリートのある多治見市本町は、明治初期から昭和初期にかけて栄えてきた陶磁器問屋の建物が数多く残っています。

これらを活かした楽しいまちをつくっていくために、第三セクターで「まちづくり会社」が設立され、観光地としての魅力を向上させています。



ボランティアガイドの方に、まちなみをご案内いただきました。



今回の景観れぽーとは、平成25年11月に実施したかりや景観づくり講座<sup>※</sup>についてご紹介します。今年度は、『住民主体の景観まちづくり』をテーマとし、緑あふれる住宅地の景観づくりに熱心に取り組んでいる『可児市桂ヶ丘』と美濃焼の陶磁器問屋が軒を並べる『多治見市オリベストリート』で景観まちあるきを開催しました。当日は、名古屋市立大学名誉教授の瀬口先生を講師としてお招きし、景観まちづくりに関する講義を受け、各まちなみを自治会の方やボランティアの方に案内をしていただきました。

※かりや景観づくり講座

市民のみなさんに景観形成に対する意識をより高めてもらい、みなさんの手による景観まちづくりや、良好な景観の形成につながる機会としていただくことを目的に、平成15年度から毎年開催しています。



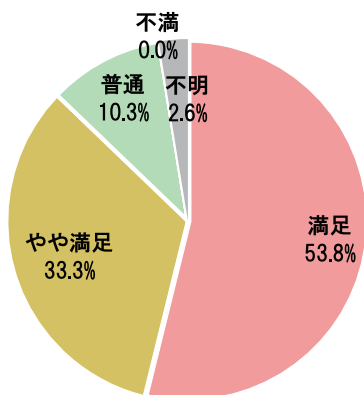
芝生が広がる住宅地桂ヶ丘  
住民の皆さんの手で美しく保たれています

## 可児市 桂ヶ丘

## 住民主体の景観まちづくり

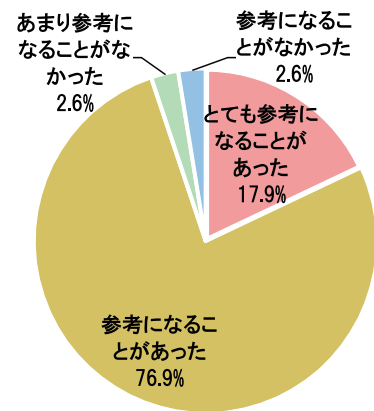
参加者の声 かりや景観づくり講座終了後、参加者の方にアンケートのご協力をいただきました。ここではその結果の一部をご紹介します。

講座の内容は  
いかがでしたか？



[回答数 39人]

今後の景観づくりの参考になることはありましたか？



[回答数 39人]

感想をお聞かせください。

- 住民が交流して活動していく景観まちづくりは素晴らしいと感動しました。まちづくり意識が高まりました。
- まずは自分の家の庭の手入れをし、家の周りの手入れも出来るようにしていきたいです。
- 景観というものは、行政に任せきりにするのではなく市民が声をあげて守っていくものだということがわかりました。



## 多治見市 オリベストリート



景観への取組が観光地としての魅力を向上させました

# 可児市 桂ヶ丘

緑あふれる可児市桂ヶ丘は  
住民主体のまちづくり



可児市桂ヶ丘は、住みよいまちづくりを進めるために「桂ヶ丘地区計画」が定められています。  
また自治会をサポートするために、自治会内に「まちづくりプロジェクト」を立ち上げ継続的なまちづくりを可能にする仕組みをつくり運営しています。



自治会、まちづくりプロジェクトの方から取組について説明していただきました。



市の補助を得ながら自治会が整備を進めている公園を視察しました。みんなで知恵を出し合い、専門家からの意見を取り入れて管理を行っています。



**Point!** 地区の子どもたちがデザインしたタイルがまちを彩っていました。子どものころからまちづくりに対する意識が高められます。

## ◆ 「桂ヶ丘地区計画」の一部ご紹介 ◆

- ・自然石を用いた擁壁の設置
- ・フレンドリーガーデンの確保
- ・敷地面積の最低限度
- ・建築物の用途制限
- ・建築物の壁面の位置の制限
- ・かき・さくの構造の制限 など

地区計画制度とは・・・

住民の意向を反映しながら、地区ごと特性に応じたきめ細かい計画を定め、住みよい特色のあるまちづくりを進める制度。地区計画では、地区の名称、位置、区域及び面積の他、地区計画の方針と地区整備計画を定める。刈谷市においても3地区で計画が定められている。



**Point!** 自然石を活かした擁壁には、独特の風合いがあり緑と混じり合って豊かなまちなみをつくります。



**Point!** 敷地の前面を緑化するフレンドリーガーデンは、緑の額縁となり、まちなみ全体の調和を高めています。

### 住まいのまちなみコンクール『住まいのまちなみ優秀賞』受賞

桂ヶ丘の住民で構成される桂ヶ丘自治会は、これまでの活動を評価され、平成23年に一般財団法人住宅生産振興財団主催のコンクールで『住まいのまちなみ優秀賞』を受賞しています。



## 景観まちづくり講座

講義内容  
「住民主体の景観まちづくり」

### 【日本の景観まちづくり】

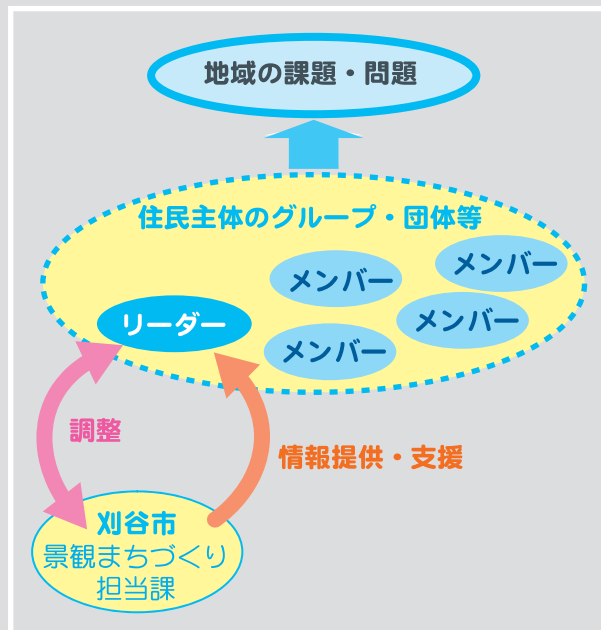
日本の景観まちづくりは、開発行為から地元の歴史的景観を守るための反対運動や、まちなみ保存により魅力を向上させるなど地域再生を目的としたものが多くみられます。

### 【日本の建築と景観】

世界的にみると、日本は「建築自由の国」で景観よりも施主の意向が尊重される傾向があります。そういったなかでも、2004年に「景観法」が公布され景観に対する意識が高まりつつあります。



当日は、瀬口先生から多治見市産業文化センターのイベントホールにおいて講義をしていただきました。



住民主体の景観まちづくりのイメージ

### 【住民主体の景観まちづくり】

#### ● 景観まちづくりは住民の得意分野

身近な環境は住民自らが大切に守るものです。行政が出来るのは、基幹的なものの整備であり、個人の住宅などの整備は難しく、財政的にも限度があります。むしろ、行政より住民が得意とする分野です。

#### ● 景観まちづくりのヒント!「大切にしたい景観はなにか?」

身近な歴史的景観を調べることで、地域にとって大切な場所や、どのような人がかかわってきたかなどが認識され、郷土意識の向上、先人への尊敬の念や、コミュニティ意識が向上します。まちの魅力を共有化することが景観まちづくりのきっかけとなります。

#### ● 住民主体の景観まちづくりの進め方

行政に頼り切るのではなく、住民と行政の協働、相互の補完が重要です。行政の役割は情報提供や支援、きっかけづくりを行うこと。住民の役割は、個人的な意見を大切に、現場でものを考え、成果を目に見える形にし、地域に伝え主体的に取り組むこと。景観まちづくり、始めてみませんか?



瀬口 哲夫 先生 (名古屋市立大学名誉教授)

**専門** 都市景観計画、歴史的遺産を活用したまちづくり等

**経歴** 豊橋技術科学大学建設工学系助教授、名古屋市立大学芸術工学部教授などを経て、平成23年4月より名古屋市立大学名誉教授。  
刈谷市都市計画審議会会長、愛知県文化財保護審議会会長、名古屋市歴史的風致維持向上計画協議会会長等、都市・景観計画に関する各種委員会座長、委員等を歴任。

